

一級建築士に直接お届けする 建材フリーマガジン

2021
Vol. 10

CLASS1

ARCHITECT

建築家 畑 友洋

暮らしと自然の境目をなくす建材とは。

大地の家



EKG-022 切子風ガラス
亀甲紋 フロスト
¥ 15,200～ (税抜)

新しい空間に「懐かしい」を

切子風ガラスは、江戸切子の風合いを最新技術で再現した新しい「魅せるガラス」。
従来のありきたりな和モダン住宅に、ガラスの高級感と伝統の和柄文様を取り入れた
“新しくも懐かしい”和モダンをご提案。
ぜひいちどご注文ください。

DGデザインガラス.com

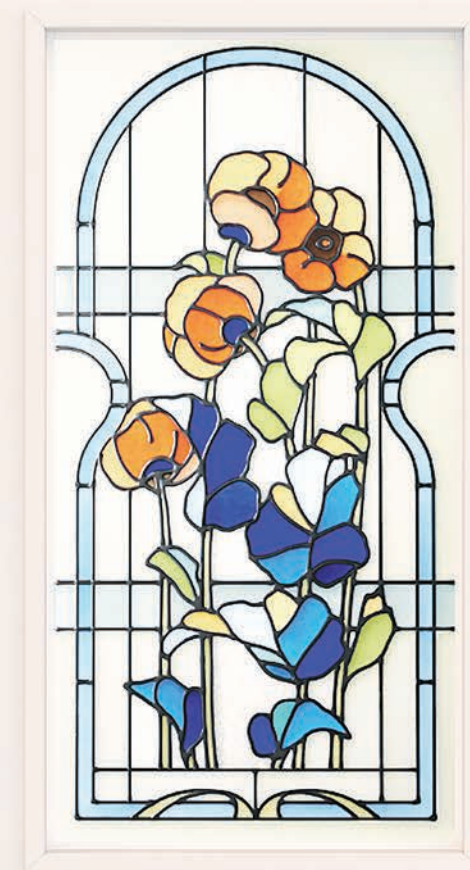
営業日時：月～土 9:00～18:00 (祝日除く)

0120-12-5534

担当：藤澤・中村 副担当：小林

無料会員登録で
アソートボックスがもらえる！

詳しくはこちら▶



一枚ガラスだからできる

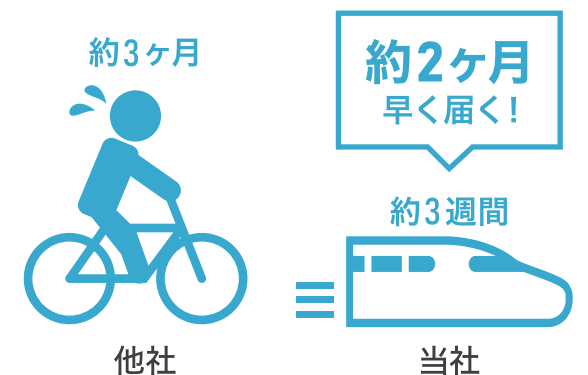
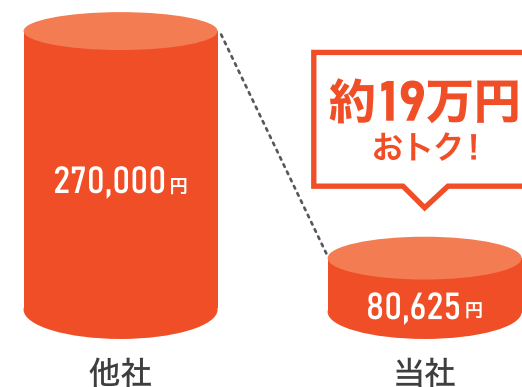
低価格 短納期

ステンドグラス風装飾ガラス
ブリリアントモーメント K30
80,625円 (税抜)

＼ 当社のステンドグラスは /
こんなにおトク！

低価格

短納期



ステンドグラス窓.com

TEL:0776-58-2239

担当者：藤澤・山崎・中村

3分で応募完了！
無料サンプルプレゼント中▶



主役は建材。

著名建築家が選りすぐりの建材を
アクティブに紹介する
建材専門フリーマガジン

CLASS1 ARCHITECT

一級建築士に直接お届けする建材フリーマガジン

暮らしと自然の境目をなくす建材とは。

建築家 畑 友洋

06 大地の家

- ・ワールドフロンティア 有限会社 「浮造り木板」
- ・Studio Akane Moriyama 「チタンスパッタリングカーテン」

15 ARCHITECT'S Q&A

聞きたくても聞けない、建築家が出合った特別な建材を一挙ご紹介！



Vol. 10

THIS ISSUE'S CLASS1 ARCHITECT

著名建築家を使用した建材を紹介する CLASS1 ARCHITECT。
今回は畑友洋建築設計事務所の畑 友洋氏にご登場いただき、
建築にまつわる想いを伺いました。



どのような建築を手掛けることが多いですか？

最近は民間のプロジェクトだけでなく公共建築にも関わらせていただくようになりました。公共建築だから標準的な建築をつくる、というのは必ずしも正解ではないと思っています。特徴的なものをつくり街に刺激を与えることで、歴史とつながりながら、人々に大事にされる建築になると思うのです。

進行中のプロジェクトは？

今手掛けているのが、兵庫県神戸市のJR灘駅駅前広場です。E-DESIGN、モビリティデザイン工房設計と共同で、南北両側の広場を設計しています。新しい取り組みですし、駅の近くには南北ともに巨匠の手掛けた建築があるのでとても緊張します。2021年以降に完成予定です。

畑さんが建築家を 目指したきっかけは？

自分が住んでいた町は本当に田舎で、隣の家はかなり向こうまで行かないとないくらいの場所でした。そんなところで晴れやかなものといえば、家が建つことでした。家が建つと人が集まり、子どもが遊ぶ場所になるんです。そんな晴れやかなもの

をつくる仕事に就きたい、と思ったのが最初でした。高校時代は京都に下宿していましたが、その3年間、目の前で京都駅ができていくのを見ていて、「建築とは街そのものだ」と感じ、家から都市までのスケールを自由に行き来して創造する建築の仕事に刺激を感じました。

畑 友洋 TOMOHIRO HATA 一級建築士

畑友洋建築設計事務所主宰

神戸芸術工科大学准教授 京都大学非常勤講師

- 1978 兵庫県生まれ
- 2001 京都大学工学部建築学科卒業
- 2003 京都大学大学院工学研究科修了
- 2003-04 高松伸建築設計事務所勤務
- 2005 畑友洋建築設計事務所設立

● 主な作品

- ガラスの木漏れ日（辻堂） 滋賀県長浜市
- 大地の家 大阪府池田市
- 円側の家 兵庫県神戸市
- 明石公園交流拠点施設 兵庫県明石市
- 明石市大蔵海岸公園施設 兵庫県明石市
- 三宮プラッツ 兵庫県神戸市



暮らしと自然の境目を
なくす建材とは。
大地の家

「日本建築には風化がなくなった」 その問いに正面から取り組んだ

建物はいつが形としてピークを迎えるのだろうか。人間や自然は時を重ねるごとに重みや風格を身に付けていくのに、人間が手掛けた建物という存在は、建てた瞬間がピークになることが多い。「本当は時間の経過とともに建物も成長していけるのではないか」。畑氏は、「建築で人が自然体でいられる空間を回復する」という志を、今回の施主からの問いかけで再燃することとなった。『『大地の家』を設計するときに思い出したのが、村野藤吾さんが設計した教会でした。レンガの目地に銅板を挟んで、何十年か経ったときにレンガに緑青の錆が出るようにするという設計です。時間までも設計に加えるという手法に正面から取り組みました」。

経年による劣化ではなく、良い意味での風化が施されていく建物。そこには幼少期に自然の豊かな町で育った畑氏の経験が活きている。狂暴でもあり愛情もくれる自然とともに生きてきた感覚。そこにある家もまた、自然の力を借りて成長するもの。何層にも積み重なった人工の“大地”に、生態系が育っていくような家。この地域の生態系、風の通り道、太陽の回り道を調べ、「何十年か後の世界で完成する家」を設計した。

完成してから2年が経過し、この家はどこにいても自然を感じることできる場所になった。「生態系が定着しつつあるのを感じました。ほっとした部分もありましたが、生態系に関しては予定定めても裏切られることもあります。それもまた楽しみなのが今回の家だと思います」と畑氏は語った。



大地の家

所在地 大阪府池田市
設計 畑友洋建築設計事務所



畑さん、
なぜこの建材を採用したのですか？



本当に木が好きな会社

ワールドフロンテアさんを知ったのはずいぶん昔です。営業の方が飛び込みでこられて、とにかく木の魅力をやたらと話されて。「なんだこの人は」と驚きましたが、よっぽど木が好きなんだなと思い、そこからずっとどこかで気になっていました。私はカタログから素材を決めることに少し抵抗を感じます。「これって本当に何かを選んだことになっているのだろうか？」と思うときがあって。もう少し素材のことを勉強してから選びたいと思っていたなかで、木に詳しく、木を扱うことを心底楽しんでいるワールドフロンテアさんはとても信頼できました。



不均質な感触が人と自然をつなげる

「大地の家」では、「浮造り（うづくり）」と呼ばれる自然の凹凸を活かした工法でできたナラ材を壁・床・天井に使用した。この家は周辺の自然とともに存在するために生まれた家であるため、綺麗に均質化された木は、この家にとっては不釣り合いなものになる。使用した木板は一部が割れていたり、節が目立ったり、抜け節の補修痕が見えたりしているなど、木のありようがそのまま表れている。

人の肌が触れる場所に木を使用することで、人の営みとともに風化し、「人の痕跡」をつくっていくことを設計に組み込んだ。木の節や年輪の幅、自然が生み出す不均質さは、中にいても外とつながる感覚をつくり、自然との一体感を演出している。「生態系が自然の中に定着するような流れで、人も自然の一部となって生活を定着していけるように」との思いが込められている。

浮造り木板の特徴

01 専門の職人が手掛ける

「浮造り」は専門の職人が手斧などの道具を用いて、木の木目に沿って一つひとつ敢えて凸凹を付ける古来よりの技法。表面に豊かな表情をつくり出すことができる。

02 ありのままの不均質さ

木目や節の凹凸などを消してしまわず、ある程度肌で感じられる程度に残している。木のありようがそのまま表れる不均質さが自然の延長を演出。

03 人の営みを映し出す

人の肌が触れる場所に使用しており、触ったり踏んだりした部分が特有の経年変化を起こすことで、住む人の営みが木板に表れる。

ちょっとした加減を感じ取る

ワールドフロンテアさんは自然素材を扱う会社。「どの木をどれくらいのロットで欲しいのか」といったことも丁寧に対応してくれます。同じ樹種でも採ってくる山が違ふと感じが変わるため、「『ナラ』といえば同じものが手に入る」というような均質な感じとは違います。そういうことをちゃんとコントロールしてくれて、「ちょっとした加減」をわかってくれています。この「加減」というものが建築には大事だと思っていて、そこを相談に乗ってくださったのは大きかったです。いい意味での不均質さがありながら一定の品質を保つという、非常に難しい部分を両立されているところが素晴らしいと思います。



メーカーさんへ聞いた 建材開発秘話

お話を伺ったのは …
張 傑さん



オーダー製作による柔軟な対応

当社の主力製品は自然素材のフローリング・パネリング・特注造作材（框・階段板など）です。今から20年前、ホルムアルデヒドを含む建材による「シックハウス症候群」が社会問題になったことがきっかけで、本当に居心地の良い空間とは何かを追求した結果、自然素材を取り扱うことにしたのです。当社ではこの自然素材製品のオーダー対応もおこなっています。建築家の方々の構想・ご要望に寄り添いながら積極的に提案していることも、当社がご支持いただいている理由だと思います。



予算内で建築家の思いを形にする

今回の「大地の家」に関しては、統一感を出すために壁と天井にフローリングと同じ素材を使いたかったそうです。しかし、フローリングの標準規格の長さは1820mm、壁に一枚通しで使うには2400mmが必要だったのです。普通ならあきらめるところでしたが、丸太からオーダーで切り出して仕上げ、予算の範囲内でご提案いたしました。建築家さんのご要望は非常に細かいので、「きめ細やかな対応」はいつでも心がけています。



本物志向に対し、本物の技術で提案

畑さんから、本物の木の質感を最大限に表現できる素材とその素材の仕上げ方法についてご相談いただいた際、材料はナラの浮造りしかないと思いました。ナラ材は古来より内装、家具などに使われ、広い巾を取れる材料です。専門の職人さんが手斧などの道具を用いて木の木目に沿って凸凹をつけることによって、ナラ材の表面に立体感と豊かな表情が生まれます。結果的に、巾220mm、長さ2400mmの立派なナラのフローリング、パネリングをつくりだすことができました。

ワールドフロンティア有限公司

〒659-0075
兵庫県芦屋市津知町 1-24
TEL 0797-38-9288 FAX 0797-62-9278
MAIL info@world-frontier.com
URL www.world-frontier.com/



カタログ
送付可



サンプル
提供可



見積
作成可



試作可

MATERIAL 02

チタンスパッタリング カーテン



内と外を遮断せずつなげるカーテン

幼い頃、隣家との間隔が十分にとられているおおらかな環境で育った畑氏にとって、カーテンとは「寒いから閉めるもの」だった。やがて都会で暮らすようになってから、都市においてカーテンが「視界をコントロールするためのもの」と認識されていることに対して、「こんな暮らし方が人間にとって本当に良いのか？」という、どこか窮屈な感覚を覚えたという。

「大地の家」では せっかく生態系を内に取り入れようとしているのだから、視界を遮るような素材は意味がない。だからこそ畑氏は、Studio Akane Moriyamaの森山茜氏に、内と外を溶け込ませ、現代の住宅環境に沿うようなカーテンを依頼した。

そして生まれたのが、シルクにチタンの粒をスパッタリングしたカーテン。微風でもなびくほどの軽やかさがあり、組み込まれたチタンが日差しを反射させることで、見事に光と風を室内に取り込んだカーテンになった。階によってチタンの量が違うため、そのグラデーションも楽しめるようになっている。

チタンスパッタリングカーテンの特徴

01 風が視覚化される

非常に軽い素材であるシルクは、わずかな風も逃さず、ふわっと、ゆっくりと揺れることで、目に見えない風を見せている。

02 光を反射させる

カーテンに吹き付けたチタンが日光をバウンスさせるように室内に取り込むため、直射日光では感じ得ない光の広がりを見せる。

03 視界を遮断しない

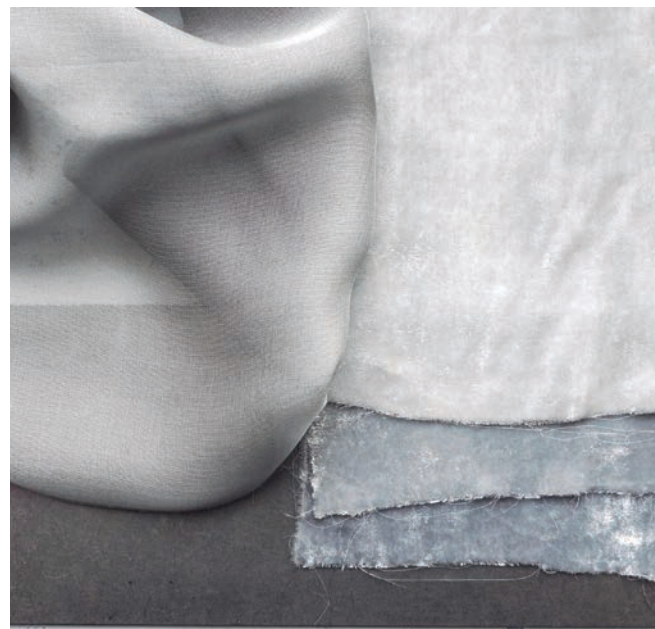
光や視線をやわらげつつも、建物の外側にある生態系をシルエットとして内側に伝える透過性を持ち、生態系をより近くに引き寄せる演出に。

畑さん、
なぜこの建材を採用したのですか？



ファブリックから空間を見る

森山さんは現在スウェーデンに活動の拠点を置かれているファブリックデザイナーです。デザインだけでなく、ご自身でファブリックの製作もされています。「大地の家」の前にもいくつか一緒に仕事をさせていただいたことがあり、今回もお願いしたいと思っていました。森山さんはファブリックというマテリアルから、空間全体を見ていらっしゃるように思います。つまり、ファブリックのみにピントを合わせたつくり方ではなく、風を受けたときの動きや光の反射・拡散・透過など、空間的な現象を引き出すものとして製作されるところが、私は特に興味深く感じています。



メーカーさんへ聞いた

建材開発秘話

お話を伺ったのは …

森山 茜さん



ファブリックをコンセプトからイメージ

基本的に建築を考えるようにテキスタイルを考えているので、テキスタイルデザインをするときは、まず空間を考えてそこから素材に落とし込んでいきます。今回も畑さんから建築をどういう風に考えられているかをお聞きして、そこにテキスタイルがどういうアプローチができるか、ということを考えてデザインを進めました。今回は建築の素材の話をお聞きしたとき、硬いチタンをどう柔らかに空間に取り入れられるかな、と思ったのが始まりでした。



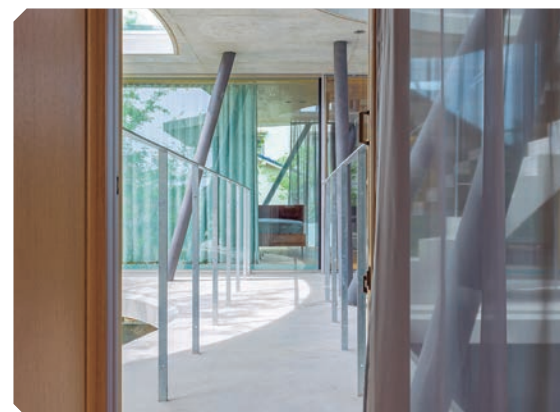
チタンを飛ばすスパッタリング

詳細は企業秘密のようなので、過程を詳しくお知らせすることはできないのですが、真空の装置の中で、チタンの分子を飛ばして直接布の表面に金属を定着させるのがスパッタリングという技術です。今回のカーテンは、チタンを吹き付けることで遮熱効果があり、また光を反射するので視線を遮る効果もあります。階や部屋によってある程度の視線の遮断が必要でしたので、チタンの量を変更し、3〜4種類のカーテンを製作させていただきました。



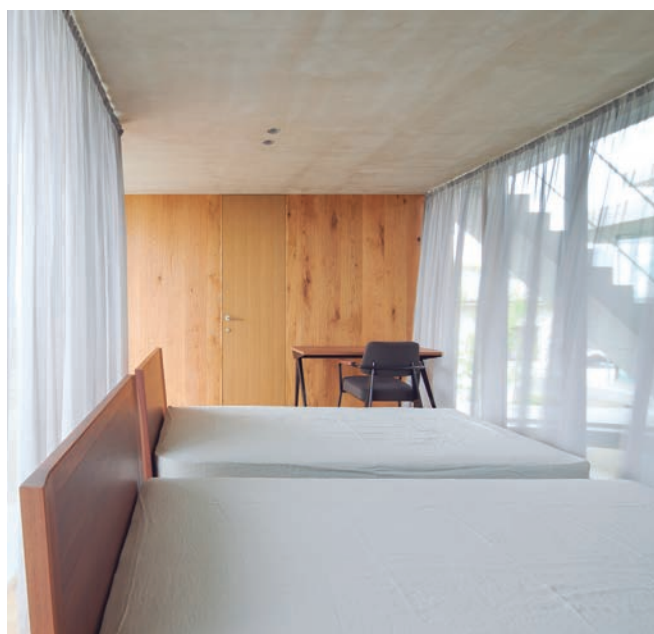
テキスタイルの力を引き出す

自然が可視化されることは私の製作のテーマというより、テキスタイルという素材が持っている元来の力のような気がしています。私の仕事はそういったテキスタイルの力を空間にうまくフィットするようにデザインすることだと思っています。製作も自身で行っているのは、素材と色などの相性を手で確かめながら進めるのが一番確かな方法だと実感しているからです。加工の過程を他者に任せるときも必ず実際のサンプルを見てもらいながら進めています。



遮る・遮らないを選択できる

都市部は密集しているので何らかのスクリーンが必要になるのですが、森山さんには、「何かを遮断するためにあるのではなく、むしろ何かとつながるためにあるようなカーテンを考えて欲しい」と依頼しました。変な言い方になりますが、「建物の内に引き寄せた生態系を、ファブリックを吊るすことでもっと内側に引き寄せてください」と言いたかったんです。寝室などちゃんと遮光したい場所はダブルで吊って不透明にしたりもしますし、グランドレベルでは歩いている人とお見合い状態になるのでチタンの量を多くして、上階になるにつれてだんだんチタンの量を減らしてもらいました。



Studio Akane Moriyama

URL akanemoriyama.com/





窓の相談窓口 WINDOW S

くらしの問題を、「窓」で解決



窓相オススメ
商品・サービス

短時間で高断熱の窓リフォーム!

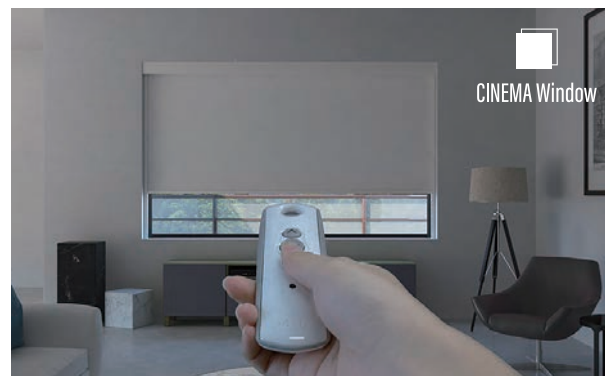
RAKUE



「断熱・遮熱性能」「耐久性」「短時間で手軽な取付」を実現した樹脂窓。樹脂サッシと複層ガラスで最高クラスの断熱性を備えることはもちろん、樹脂サッシに替える際に不安な「耐久性」や「汚れやすさ」の問題を、特殊なフレームで克服。

窓がプロジェクター用スクリーンに!

シネマウィンドウ



特許取得のスクリーンファスナーシステムを採用したロールスクリーン。外部からの光を遮断して室内を完全な暗闇にすることができ、会議室をプレゼンルームに、リビングをシアタールームとして使える。お家時間の長い今の時期におすすめの商品。

他にもたくさんのおすすめ商品を取り揃えております。詳しくはサイトをご覧ください。



窓の相談窓口 WINDOW S
mado-soudan.jp

販売元: OOKABE GLASS
0120-50-4577
担当: 橋本 副担当: 藤澤

営業日: 09:00~18:00 月曜~土曜日(祝日除く)
MAIL: shop@ookabe-glass.com
FAX: 0776-54-4566

詳しくは
こちらから▶



ARCHITECT'S

Q&A



畑 友洋が選ぶ5つの建材

あの建築家はどんな建材を使って、どんな価値観を持っているのだろう?
そんな、聞きたくても聞けない“ここだけの話”
建築家がテーマに沿って特別に語ってくれました。

Q1

木造の強度を高める建材は?

A

モールテックス



株式会社 HAND

〒651-2104 兵庫県神戸市西区伊川谷町長坂884番8号
ベースブリッジ長坂II102号
TEL 078-976-5120 FAX 078-976-5120
MAIL nishi.hand@outlook.jp
URL www.hand24.co.jp/



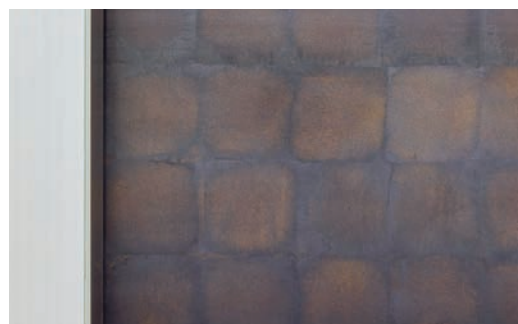
高級感を生み出しながら、
木造の特性である伸縮膨張にも対応

モールテックスはベルギー生産の特殊モルタルです。ある程度の不均質さも出てくるのでデザイン性があるほか、高級感を生み出し、木造の特性である伸縮膨張に対応できる粘りがあります。それでいて割れにくい、かなり機能的で重宝する素材です。

HANDさんはモールテックスの責任施工を引き受けている会社。HANDさんに施工を依頼した明石市の大蔵海岸コミュニティテラスは、日本で最大のモールテックス施工の建築になりました。木造でありながら3階建てになっていて、かつバーベキューもできるようにしたいという難解な要望を、重くなり過ぎない極薄仕上げで、かつ木造の強度を高めるモールテックスで実現しました。

Q2 偶然出合った、めずらしい建材とは？

A 黒箔



堀金箔粉株式会社

〒604-8095
京都府京都市中京区御池通御幸町東入大文字町 356
TEL 075-231-5357 FAX 075-211-5357
MAIL post@horikin.co.jp
URL www.horikin.co.jp/

カタログ 送付可 サンプル 提供可 見積 作成可 試作可

全国でも数少ない職人の技は、
風化した後の鈍い光を演出

いつも伝統的素材を探して建築物を見て回りますが、特に時の経ったものを見に行きます。そこには本当にいいものが使われており、銀が風化したにぶく黒く光る意匠がとても好きです。それが色濃く特徴として表れている伝統的素材が「黒箔（くろはく）」です。銀箔を硫化させたものですが、実はそれを貼ってくれるところが少なく、探し回ってやっと京都の金箔職人を探し当てました。全面ガラス張りの会議室入口に自動扉の面材として、床の間の壁をイメージして使用しました。一枚ずつ手貼りをしておりそれが硫化度合いも違っているので不均質さを生み出し、日本に古来からある独特の美しさを感じさせます。

Q4 自然の流れを感じる建材は？

A グラデーションカーテン



Studio Akane Moriyama

URL akanemoriyama.com/

見積 作成可 試作可

遮るのではなくつなぐため、
ファブリックの可能性を引き出す

カーテンは遮るためのものではなく、何かをつなぐために存在する、と思っています。むしろ開けておいてもいい場所は、開いたままのほうが自然とのつながりができると思います。先般でも紹介しましたが、森山茜さんのファブリックはそういった部分を見事に具現化してくれています。今回のグラデーションカーテンも、下から上にかけてグラデーションをかけ、上部を透明にすることで、自然の光を室内にも取り込むような演出をしています。日本の建築でいう、らんまのような役割ですね。そよ風でなびくほどの柔らかさとなめらかさなので、微細な自然の流れを可視化できるのもいいですね。

Q3 技術と素材が活かされた建材は？

A 紙あかり(和紙入り合わせガラス)



三芝硝材株式会社

〒933-0974 富山県高岡市岩坪 23-2
TEL 0766-24-6811
FAX 0766-27-1222
URL www.sanshiba-g.co.jp/

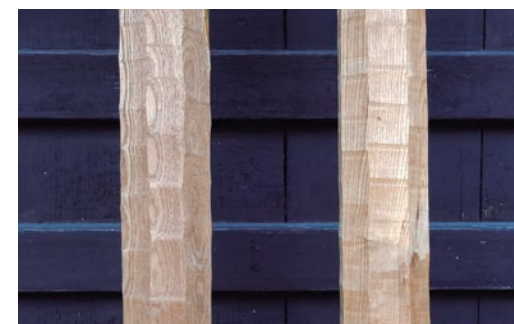
カタログ 送付可 サンプル 提供可 見積 作成可 試作可

古来の日本建築にヒントを得て、
和紙とガラスの異素材を融合

これは三芝硝材さんと和紙メーカーの川原製作所さんが共同制作したガラスです。川原製作所さんは滋賀県長浜市の装飾的建物を設計した際にお世話になった会社で、素材となる椿やトロロアオイの栽培からおこなっているほど本物を追求する会社です。このガラスは会議室に使用したのですが、会議室はセキュリティの問題で音が聞こえてはならず、突き詰めれば暗室のようになるのですが、それでは空間として不愉快です。日本建築は障子というレイヤーが空間を隔て、らんまという存在が光を通していました。それを現代の様式にあてはめ、合わせガラスの間に富山の「蛭谷（びるだん）和紙」を挟み込むことで、視界を遮りつつも光を忘れない設計をしました。

Q5 伝統技法を駆使した建材は？

A なぐり材



有限会社 松文商店

〒602-8305
京都府京都市上京区千本通上立売上ル花車町 487
TEL 075-463-0275 FAX 075-464-3584
MAIL info@matubun.co.jp
URL www.matubun.co.jp/

見積 作成可

人の手で殴った仕上げで
不均質さをより際立たせる

なぐり材というものは手で殴って仕上げた木材のことで、手斧（ちょうな）という道具でラフに削って仕上げるため、木自体がもつ力強さやぬくもりが前面に押し出されます。現在工事中の京都の茶室に、床柱として槐（えんじゅ）のなぐり材を使用しました。山林で自然に自生していた木は、人と生活をともにしてきた木。それを人が建築に使うことで木は人から第二の生命を与えられ、その建築の中で人間が暮らすことで、人は木からさまざまなことを教わります。松文商店さんは京の町家にあり、話していると、木に愛着を持って商売をしているな、と感心させられます。

CLASS1 MONIKEN

新製品を中心とした
完全無料の建材モニター企画

ご応募いただいた方の中から、
抽選で製品をモニタープレゼントいたします。



CLASS1 ARCHITECT
PORTAL

アプリダウンロードで今すぐ応募



STEP 1

アプリからご応募



STEP 2

当選通知が来る



STEP 3

製品が届く



STEP 4

モニター開始



STEP 5

レビュー・写真を送信

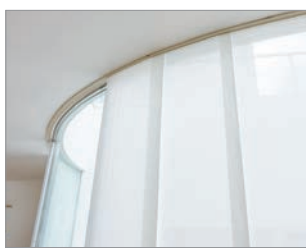
👍 こんな建材が無料で試せます

モールガラス



アンティーク調の空間が引き立つ
ストライプ柄デザインガラス

ZIPrail Screen



コンパクトな収納性が特徴の
間仕切りシステム

ルーフラミテクト



湿気を逃がし長持ちする屋根をつくる
“透湿性”ルーフィング材

🗨️ 当選された方の施工事例



使用製品
エステックウッド
アッシュラフ

当選者: 建築士N様

事務所のビルに採用しました。荒々しくも気品のあるウッドデッキとなり満足です。変色していく過程にも期待ができます。



Before



After

モニター建材掲載希望の

メーカー様
募集中

詳しくはこちら ▶



Vol.10 読者アンケート



こちらのQRコードは、読者さまに向けた今号のアンケートとなっております。回答いただきました内容は、編集部が一つひとつ目を通し、今後の企画に活用いたしますので、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

アンケートにご協力いただいた皆さまには、弊社の関連会社であるOOKABE GLASSのガラス・鏡販売サイトにて利用できる**10%OFF**クーポンをプレゼントいたします。
更に、ガラス販売サイト内の「OOKABE GLASS会員」にご登録いただくと、無料で**デザインガラスのサンプルアソートBOX** (通常9,800円)をプレゼント!



SPECIAL THANKS

Architect

畑 友洋 様

Manufacturer

Studio Akane Moriyama
ワールドフロンテア 有限会社
株式会社HAND
堀金箔粉株式会社
三芝硝材株式会社
有限会社 松文商店

Architecture

大地の家

Photo

矢野紀行 様(表紙/P5/P6-7/P8/P11/P12下)
Studio Akane Moriyama(P12上/P13上・中)
市川靖史 様(P13下)
新建築社写真部(P17上)

CREDIT

発行	OOKABE Creations株式会社
発行人	大壁 勝洋
ディレクション	岩崎 祐輔
編集	嶋田 明莉
文	宮田 耕輔 (株式会社ウララコミュニケーションズ)
デザイン・DTP	山本 実紗・勝木 遥菜 三枝 清美 (株式会社ウララコミュニケーションズ)

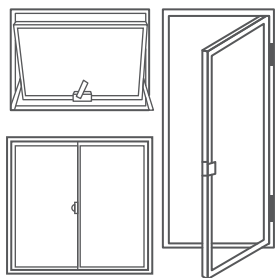
【編集後記】

今回の特集では、お話をうかがった建材一つひとつから「住む人と周辺の生態系を分断せずつなげる、引き寄せる」という「大地の家」における畑様の意図が強く伝わってきて、素晴らしい建築とはこうした意図が細部にまで宿っている建築のことなのだと改めて感じました。
CLASS1 ARCHITECTは今号からA4サイズになりました。より読みやすく、価値のある情報をお届けしてまいりますので、どうぞよろしく願いたします。

各メーカー様へのお問い合わせの際には「CLASS1 ARCHITECTを見た」とお伝えください。
サンプル送付・試作等の対応については有料の場合がございますので、お問い合わせ時にご確認ください。

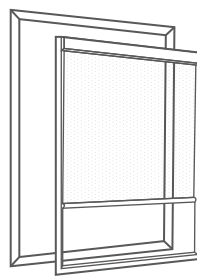


どこでもできる、だれでもできる 網戸革命



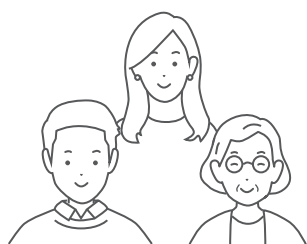
どこでも

簡単に後付けができるため、今まで網戸がなかった、網戸を付けられなかった開き窓・すべり出し窓などにも使用できます。横開きでの使用もオススメです。



あとからでも

「換気したいのに、窓に網戸が無い」とお悩みの方に。網戸が無い窓にも簡単に後付けできる収納式ロール網戸です。



だれでも

取付用のL字アングルに、本体を両面テープで貼り付けるだけで後付けが完了します。取り付け後のメンテナンスも簡単！



サンプル請求

窓の相談窓口では、使用感を実際に試すことができるサンプルをご用意しております。詳しくはお問い合わせください。

どんな窓にも付けられる網戸

ZIProll



窓の相談窓口 WINDOWS
mado-soudan.jp

販売元: OOKABE GLASS
0120-50-4577
担当 橋本 副担当 藤澤

営業日: 09:00~18:00 月曜~土曜(祝日除く)
MAIL: shop@ookabe-glass.com
FAX: 0776-54-4566